

公益財団法人 住友生命健康財団 主催
スミセイ ライフフォーラム



(写真提供/シーズアスリート)

ゲスト

浦田理恵

2012年ロンドンパラリンピック ゴールボール金メダリスト
シーズアスリート所属

生きる 脳とチャレンジ

20歳の頃に網膜色素変性症を発症し、
教師になる夢を断念した浦田理恵氏。
その後、ゴールボールに出会い、
2012年ロンドンパラリンピックで見事金メダルを獲得する。
左目の視力はなく、右目の視野もほとんど失いながらも、
見えないことから逃げず、笑顔で自分にできることを
探し続ける生き方、その輝き続ける「脳」に
脳科学者・茂木健一郎氏が迫ります。

第1部 人生が輝く脳の活かし方

茂木健一郎氏

第2部 自分らしくキラキラ生きる

浦田理恵氏

休憩 ~和田英治東京医科大学助教による運動のご紹介~

第3部 対談

浦田理恵氏×茂木健一郎氏

抽選で
1500名
ご招待!

2018年9月22日(土)

13時開演~16時終了予定(12時開場予定)

会場/鹿児島県民文化センター 宝山ホール
鹿児島市山下町5-3

参加費/無料(定員1500名)

ナビゲーター、脳科学者

茂木健一郎



セミナー風景などをご覧ください。詳しくはウェブで。

住友生命健康財団

ウェブ検索

ご入場には招待券が必要です。裏面のお申込書をご利用ください。

後援:住友生命保険相互会社 鹿児島支社 (株)朝日カルチャーセンター

講師紹介

もぎ けんいちろう

茂木 健一郎

東京生まれ。ソニーコンピュータサイエンス研究所シニアリサーチャー。東京大学理学部、法学部卒業後、東京大学大学院物理学専攻課程修了。理学博士。専門は脳科学、認知科学。理化学研究所、ケンブリッジ大学を経て現職。著書：『脳とクオリア』（日経サイエンス社）、『生きて死ぬ私』（徳間書店）、『脳と仮想』（小林秀雄賞受賞・新潮社）、小説『東京藝大物語』（講談社）、『ありったけの春』（夜間飛行）、『「ほら、あれだよ、あれ」がなくなる本』（羽生善治共著・徳間書店）など多数。

うらた りえ

浦田 理恵

熊本県生まれ。福岡在住。教師を目指していた20歳の時に急激に視力が低下し、『網膜色素変性症』と判明。現在、左目の視力はなく、右目も視野が98%以上欠損し、強いコントラストのものしか判別できない。26歳の時に国立福岡視力障害センターに入所し、マッサージや鍼灸などを学んでいた際、ゴールボール[※]に出会い競技をスタート。国際大会への初参加は2006年IBSA世界選手権大会。2008年北京パラリンピック7位。2012年ロンドンパラリンピックで、夏季・冬季併せて日本史上初となる団体競技での金メダルを獲得。厚生労働大臣賞などを受賞。2016リオ・デジャネイロパラリンピックでは主将として活躍し、5位入賞。現在は2020東京パラリンピックでの金メダル獲得へ向けさらなる挑戦中。

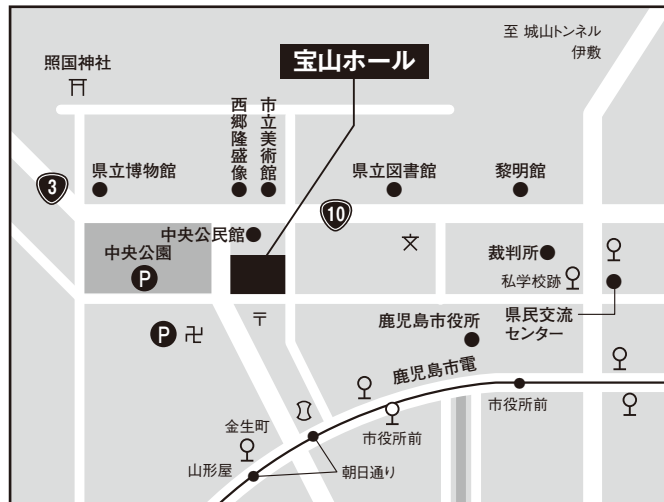
※ゴールボールとは

アイシェード（目隠し）を着用した1チーム3名のプレーヤー同士が、コート内で鈴入りボール（1.25kg）を転がすように投球し合って味方のゴールを防御しながら相手ゴールにボールを入れることにより得点し、一定時間内の得点の多少により勝敗を決する競技。

わだ えいじ

和田 英治

鹿児島県鹿屋市生まれ。東京医科大学医学部病態生理学分野助教。米オレゴン州立大学スポーツ科学専攻卒業。東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了。学術博士。東京大学大学院一高賞など受賞。専門は、骨格筋に関する領域（筋生理学、筋病理学、運動生理学、トレーニング科学）。



鹿児島県民文化センター 宝山ホール

鹿児島市山下町5-3

■JR鹿児島中央駅から（所要10分）

- 電車 鹿児島市電「朝日通り」下車
- バス 市営バスほか「金生町」下車

■JR鹿児島駅から（所要5分）

- 電車 鹿児島市電「朝日通り」下車
- バス 市営バスほか「金生町」下車

■「金生町」バス停、「朝日通り」電停から徒歩3分

※当ホールには駐車場がありませんので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

お車でご来場の際は、近くの有料駐車場をご利用ください。

スミセイ ライフフォーラム 鹿児島 参加申込書

お申込みは、ハガキ、電話、FAX、WEBにて、〒・住所・氏名・電話番号・参加人数を明記して下記まで

〒163-0210 東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル私書箱22号

朝日カルチャーセンター プロジェクト事業本部「スミセイ ライフフォーラム 鹿児島」係

TEL:03-3344-2041 FAX:03-3344-4876

(月～金10:30～17:30/日祝休)

(24時間受付)

WEB: www.asahiculture.jp/sumisei



【応募方法】

一口で2名様までお申し込みいただけます。

参加ご希望の方は、WEBまたは右記参加申込書にご記入の上、FAXまたはハガキにて上記までお送りください。ご応募いただいた方の中から厳正なる抽選を行い、9月中旬、招待券を郵送いたします。当選者の発表は、招待券の発送をもってかえさせていただきます。

締め切り:平成30年9月7日(金) 必着

【購読新聞】○で囲んでください。

- 朝日 ●読売 ●毎日 ●南日本
- その他 ()

フリガナ

代表者氏名

フリガナ

同伴者氏名

代表者住所(〒 _____)

代表者電話番号

※本券でのご入場はできません。

※ご記入いただいた申込情報は、当イベントの参加者管理目的にのみ使用いたします。

※当イベント事務局以外の団体・個人などの第三者に対して、申込情報を開示・提供することは一切ありません。